



SGH通信 2016

～「雪国*米どころ*魚沼」の世界発信を通じた人材育成～

2016年2月 発行 第1号

学校長挨拶

本校は、霊峰八海山を仰ぎ見る、新潟県南魚沼市浦佐に校舎があります。魚沼コシヒカリの名で有名な米の産地であり、冬は雪におおわれ市内にはスキー場が数多くあります。この自然豊かな地から世界へ、という構想のもとにSGH事業を行っています。地理的には国際化を行うには不便な地ですが、近くにはSGUに指定されている国際大学があります。また同じくSGUの明治大学とも提携を行っております。両大学の協力を得て、グローバル人材育成について事業を進めているところです。

今回のSGH通信は、今年度本校が実施してきた事業の流れを知っていただく内容になっています。今年3月に実施する海外研修については掲載できませんが、1年生がどう課題解決学習に取り組んで来たかが分かるかと思えます。ご一読いただければ幸いです。



学校長
玉木 正己

国際情報高校におけるSGHプログラム

目指すグローバル人材:

世界の地域課題に取り組む、国際舞台で活躍できる人間

カリキュラムの特徴

① 国際情報高校クリティカルシンキングプログラム(KJ-CT)

企業から与えられたミッション(課題)に対して、生徒が自分たちの解決策を考える活動です。グループワークを通して、批判的・論理的思考力を身につけます。

② 地域研究「魚沼学」

KJ-CTで培った批判的・論理的思考力を活かして、身近な地域である魚沼の魅力や課題について知り、解決策を考えます。

③ 海外研修

姉妹校があるアメリカ合衆国、オーストラリアに加え、コメ文化圏であるタイを訪れ、魚沼の魅力を伝えるとともに課題研究についてプレゼンテーションを行います。そこで得たフィードバックをもとに、グローバルな視点から研究を深化させます。



協力体制

新潟県立国際情報高等学校(KJ)

SGU
明治大学・国際大学

南魚沼市
豊かな自然と食文化を誇る雪国のまち

地元企業
JA魚沼みなみ

国際情報クリティカルシンキングプログラム(KJ-CT)

クリティカルシンキング (CT) を身につけるために、実社会でも役に立つ話し合いの手法「ブレインストーミング」を用いて、一般企業からのミッション (課題) に対して答えを見つけ、発信する活動を実施しました。校外でアンケート調査を行って世の中の声を集計し、「私たちが未来を変える！」をテーマに、私たちの生活をより豊かにするために企業が出来ることを模索しました。



ブレインストーミングの練習



アンケート調査の実施



K J - C T 最終発表会

地域研究「魚沼学」

K J - C T で培った批判的・論理的思考力を活かして、身近な地域である魚沼の魅力や課題について知り、その解決策について考えています。

初めに考えをうまく形にする「ファシリテーション」という方法を学びました。次に、明治大学や国際大学の専門家の先生や観光実務家、行政の方の講演を聴き、情報を得ました。その後生徒は、人口、観光、環境、国際、農業、歴史という6つのテーマごとにグループに分かれて調べ学習を進め、魚沼の魅力や課題についてプレゼンテーションを行いました。



魚沼学講演会「魚沼を知る」



魚沼学テーマ別講演会



魚沼学中間発表会 専門家・実務家の方よりアドバイスを頂きました

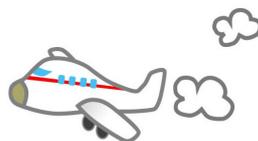


今後の予定

3月の海外研修では、現地の方々に魚沼の魅力や課題を英語でプレゼンテーションします。聴き手を意識した発表ができるよう、原稿を何度も書き直しつつ発表を繰り返し練習して、プレゼンテーションスキルの向上に取り組んでいます。2月下旬には、新潟大学の学生約15名によるプレゼンテーション指導を受ける予定です。さらに「思いを英語で伝える」練習を重ね、出発を待ちます。

《海外研修の予定》

- ・アメリカ (シカゴ) 班 3月18日～27日
- ・オーストラリア (シドニー) 班 3月18日～27日
- ・タイ (バンコク) 班 3月17日～27日



プレゼンテーションの練習中

本校SGHの取り組みについてはHPでも紹介しています。ぜひご覧下さい。
<http://www.kokusaijouhou-h.nein.ed.jp/>